



札幌市議会議員

まつい隆文 たかふみ

まつい隆文 政務活動室

〒006-0818

札幌市手稲区前田8条10丁目4-18

TEL (011) 688-7360

FAX (011) 688-7370

プロフィール

昭和50年生まれ。富丘つくし幼稚園、手稲中央小、手稲中、札幌北高校、北海道大学法学部卒業。行政書士を経て、平成27年札幌市議会議員に初当選(1期目)。総務副委員長、冬季五輪招致・スポーツ振興調査特別委員会に所属。



手稲区版

発行所 自由民主党本部 郵便番号100-8910 東京都千代田区永田町1-11-23
電話 東京03(3581)6211(代表)(毎週火曜日発行) 定価1部108円(税込み)
[昭和30年6月15日第三種郵便物認可] 自由民主党ホームページ URL: <http://www.lmpn.jp>

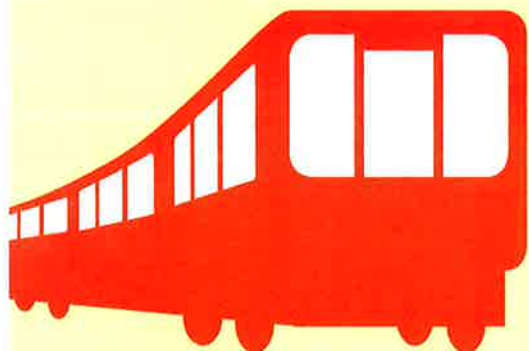


地下鉄を手稲区へ!!

地下鉄延伸に 手稲区民の

75.5%が賛成

(平成30年8月調査)



※平成31年度以降、「札幌市総合交通計画」を見直し・改定することが決定しています。



2015年4月1万3228票で初当選された松井隆文君は建設委員会、総合交通調査特別委員会、さらには冬季五輪招致・スポーツ振興調査特別委員会等に就任され、現在も総務委員会副委員長で1期生ながらも重責をこなし日々大活躍されています。特に公共交通整備政策においては区民の悲願である手稲区地下鉄延伸の要望をこの4年間熱心に進言されてこられました。私も国との連携強化にむけて松井隆文君とは常に情報交換をし、「手稲区の未来づくり」に全力で取り組んでいるところです。手稲出身で次世代の代表格として期待される松井隆文君を私も推薦いたします。

文部科学大臣政務官 衆議院議員 中村 裕之

信念貫き、行動力抜群の松井さんに期待!



2015年の統一地方選挙で若い人たちが札幌市政に参加し、手稲区から新時代を発信しようと松井隆文君が初当選を果たしてから約4年間、若い情熱と行動力、そして何よりも生まれ育った手稲を思う強い郷土愛のもと、地元の声に耳を傾け、常に全身全霊で手稲区のために尽力されてこられました。特に、北海道新幹線開業に伴い『札幌の玄関口』となる手稲区では、公共交通の利便性を高めるために地下鉄延伸を区民が強く望んでいます。『地下鉄を手稲区へ!』を合言葉に全力で活動する松井隆文君と道政と市政を結んで連携し、手稲区と札幌・北海道の確かな未来を担うため全力で取り組んでいきます。

北海道議会議員 自民党道連選挙対策委員長 角谷 隆司

新しい時代の街づくり

私たちと、子供たちの未来のため「安心して希望に満ちたさっぽろ」を実現

1. 冬の安全通行のため路面改良を実施



緩やかにカーブしている市道において、市民の方から「外側に向かって路面が下がっている(センターライン部が高い)ため、路面凍結時に遠心力が働いて、路外に滑り出しそうになり危険だ」とのご意見をいただき、直ちに土木部と改善協議。昨年、カーブ部分全体にわたり路面改良を行い、冬を迎える前に完了しました。

2. 手稲駅にわかりやすい案内板を設置



JR手稲駅自由通路の案内板を設置・更新しました。「案内板が不親切でわかりにくいので改善してほしい」と要望がありましたが、この通路はいわゆる道路の扱いになるので、設置できる看板類には制限があり、「手稲溪仁会病院」「北海道科学大学」「手稲神社」「手稲山」など、地元区民であればほぼ方向がわかるものは、表記されていませんでした。しかし、案内板はその地域に詳しくない方にこそ必要なものです。さまざまな論理構成を含めて市(区役所)と1年ほど協議を行い、多くの要望が取り入れられ、今回の設置が実現しました。

3. 里帰り予防接種への助成を実現

札幌市内の医療機関で無料で受けられる結核や日本脳炎など9種類の予防接種費用を、里帰り出産などのため、乳幼児が札幌以外の市町村で受けた場合にも市が負担するよう市議会で要望し、自己負担額の目安にあたる約1万円を限度とする助成制度が昨年4月からスタートしました。



4. 小学校近くの横断歩道に砂箱を設置



小学校近くの横断歩道が「凍結時に滑りやすく危険だ」との市民からの相談を受け、砂箱を設置しました。

地下鉄網の充実は、手稲区民の願いです。地下鉄のある副都心・手稲へ!

5. 秋元市長と地下鉄延伸について意見交換



松井隆文、角谷隆司道議会議員、中村裕之衆議院議員が札幌市役所を訪れ、秋元市長と意見交換後、地下鉄の手稲区延伸についての連名による要望書を手渡しました。

6. 子供の安全確保に向けチェーン柵を設置



通学路における子供の安全対策について地域から相談・要望があり、車道と歩道を隔てるチェーン柵を設置しました。

「できない理由」ではなく、「どうすればできるか」を考える。これが、まつい隆文の一貫した政治姿勢です。市民が望むまちづくりのために、これからも頑張っまいります!

札幌市は、平成29年に新たな都市景観条例と計画を定めました。このことから、政党等のポスターや野立て看板においても、必要な範囲に限定し抑制することで、皆さまの地域の景観に配慮してまいります。

札幌市議会議員 まつい隆文 北海道議会議員 かどや隆司